

【件名】

チャイルドシートの付いた自転車に子供を乗せたまま駐輪する人について

【内容】

私が学校や塾への行き帰りに、チャイルドシートの付いた自転車に子供を乗せたまま自転車を止めて買い物に行く人を見かけます。そのシートでは寝ている子、何かを食べながら待っている子、スマホを見ながら待っている子、「ママー」と泣きながら待っている子など様々ですが、子供が少し動いて自転車ごと倒れたら命にかかわる事故になりそうで、見て不安になります。もし、このような悲しい事故が起ったら、私にとってもみんなにとっても悲しく、チャイルドシートの付いた自転車に子供を乗せたままにすることは良くないと思います。私のお母さんは、「前に住んでいたところより鎌倉のほうが、チャイルドシートを付けた自転車に子供をのせたままその場を離れる人が多いと感じる。遠い知り合いの子供が、チャイルドシートの付いた自転車に子供をのせたまま倒れてしまい、そこを通ったトラックと接触し亡くなってしまった悲しい事故もあった。このことは、暑くなる車の中に子供を乗せたまま駐車場を離れることと同じくらい、いけないこと。」と話してくれました。鎌倉市でこういうことを無くす取り組みをして欲しいです。全国の中でもいち早く鎌倉市が子供を守るために立ち上がってください。私も力になりたいです。よろしくお願いします。

【回答】

神奈川県警察によると、自転車転倒時のケガの原因は、「スタンドを立てて停車中の転倒」が14.2%にもなります。この事故を防ぐため、神奈川県では「ヘルメット着用」「子どもを幼児用座席に乗せたら、自転車から手を離さない」などの注意点をホームページ等で伝えたり、鎌倉市でも、自転車教室などで停車中での転倒危険性について保護者に対して説明しています。鎌倉市では今後も自転車のケガをなくすため、事故の危険性を伝えていきます。一緒に安全で安心できるまちづくりをしていきましょう。